まほろん通信

VOL.28

（平成20年4月15日発行）
福島県文化財センター白河館
〒961-0835
白河市白坂一里段86
TEL 0248-21-0700（代）
FAX 0248-21-1075
URL http://www.mahoron.fks.ed.jp

実技講座「まっ茶茶碗をつくろう」

まほろん実技講座「まっ茶茶碗をつくろう」は、まっ茶茶碗作りをとおして、まっ茶茶碗の種類・形、作り方や「茶道」の歴史を学習する講座です。

「まっ茶茶碗をつくろう」は、2月9日（土）と2月16日（土）の2日間にわたり、開講しました。2月9日は手回しロクロで茶碗の形を作る「成形」を行いました。茶碗の作り方には「玉作り」「紐作り」「ロクロ作り」がありますが、講座では「玉作り」を採用しました。「玉作り」は、最初にソフトボール大のボールを粘土で作ります。次に「手回しロクロ」にボールを両手で押しつけながら円錐を作ります。このとき、ロクロの軸と粘土の円錐の軸が合っていないとゆがんだ形の茶碗ができてしまいます。それから円錐の頂点に指で穴をあけ、その穴を広げるように、粘土を指でつまみ上げながら茶碗の形を作っていきます。受講者の皆さんは、たいへん丁寧にこの作業を行ったので、均整のとれたすばらしい作品ができました。２日目の２月１６日は仕上げの作業です。ロクロに作品を逆さにおいて「高台」を削り出しました。この後、乾燥・素焼き・釉掛けの工程を経て、２０日後窯出しされた皆さんの作品は、とても素敵なまっ茶茶碗に焼きあがりました。

鉄づくりイベント報告その２

前回、今から1,200年前の製鉄炉を原寸大で復元し、その操業に際して羽口の装着角度を12°にしたことや、砂鉄をノリで固めて投入したことなどを話しましたが、今回は操業とその結果について報告します。

まほろん３号炉の操業は、平成19年11月２日の午前９時50分に開始しました。炉の大きさは、長さ2.4ｍ、幅0.9ｍ、高さ1.2ｍです。

午後１時40分には踏み鞴（ふいご）で炉内に風を送り、本格的操業を始めました。踏み鞴の踏み数は、１分間に片側16回程度です。送風開始から40分ほど経った時点で、炉内は木炭でいっぱいになりました。炉内の温度も1,400℃を超え、操業は順調に推移しました。送風開始から１時間30分たった頃、砂鉄を投入しました。これ以後は、おおよそ25分間隔で、砂鉄６kg、木炭16kgを投入していきました。

砂鉄投入から４時間30分が経過した頃、１回目のノロ出し（炉壁の粘土が溶けたり、砂鉄に含まれる鉄以外の不純物をノロと呼びます。これを炉外に流し出さないと、風の通り道を塞いでしまいます。）を行いました。ところが、普通なら流れ出すノロが全く出ません。砂鉄の投入量が少ないことと、炉壁粘土が溶けにくいことが原因と考えられたため、操業をそのまま続けました。

その後、何度かノロ出しを試みましたが、ノロの粘性が強くて炉外にはなかなか流れ出ません。このため、鞴の踏み数を20回程度に増やし炉内温度を上げることと、貝殻を細かく砕いた粉を炉内に投入して、貝がもつカルシウム成分によりノロを柔らかくする方策を試みました。これらの方法が効を奏し、操業から14時間ほど経った午前３時34分、はじめて炉外にノロが流れ出しました。

操業のようす

操業の最初のノロを「初花（はつはな）」と呼び、うまくいった場合、初花は神様にささげられます。今回は、このノロの熱を利用し、水で練った米の粉をお好み焼きのように焼いて、それを参加者全員に振る舞って祝いました。

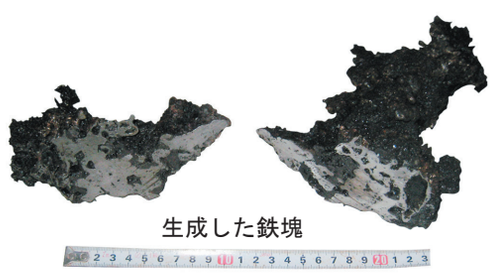
その後、順調に推移した操業でしたが、一夜開けた午前６時過ぎ、ついに送風口が詰まってしまいました。

ノロ出しのようす

炎の勢いがなくなり、投入する木炭の消化反応も50分に一回と非常に遅くなっていきました。このため、踏み鞴の送風から機械送風に変えました。炎の勢いは元に戻り、木炭の消費時間も30分程度までに回復しました。ただ、やはり送風口のつまりは解消できず、操業開始から30時間を過ぎた11月３日午後４時２分、送風を停止しました。投入した砂鉄は306kg、木炭は937.4kg（内、221.4kgは炉内満タンに消費）でした。

翌４日には炉を壊し、炉内から生成鉄を取り出しました。産出した生成鉄は51kgになりました。当初のねらい通り、炭素量の高いズクが産出できました。

今後、さらなる検討をし、古代の製鉄技術を復元していきたいと思います。


生成した鉄塊

ゴールデンウィークのまほろん

４月26日（土）～29日（火）（28日は除きます）は、石臼を使って大豆から「きなこ」をつくる「石臼体験」や、「火おこし」を行ないます。５月３日（土）～６日（火）は、「火おこし」と本物の土器に触ることができる「バックヤードツアー」。５月５日（月）は、しらかわ語りの会の皆さん、まほろんボランティアによる「昔話を聞こう」を行います。

みなさん、是非、「まほろん」においで下さい。

石臼体験

文化財研修のご案内

４～６月の研修

平成 20 年度のまほろん文化財研修は、市町村文化財担当者はもとより、広い階層まで気軽に受講できるように各種リニューアルして企画しております。皆様ふるってお申し込みください。

４月 27 日は、体験学習支援研修１「指導者のための土器づくり」を行います。まほろん収蔵の縄文土器の優品を作り手の脇に置いて、間近に観察しながら、講師から直接製作技法や文様の付け方を学びながら製品を完成させます。この日に作った土器は、その後自然乾燥させ、５月 25 日に体験学習支援研修２「指導者のための土器焼き」として野焼きを行い、炙り・火加減などの奥義を究めていただきます。

５月 17・18 日の両日には新しい取り組みとして、調査技術研修Ⅰ「スス・コゲから見た縄文・弥生土器、土師器による調理方法」を行います。古代の土器がどのように利用されていたかという研究が近年盛んで、興味深い知見が得られています。この研究の第一人者を講師として招き、まほろん収蔵の土器を多数利用して、付着物の観察方法や世界の民族・考古学事例を学習し、さらに当時の調理方法に迫る研修です。

平成 19 年度の入館者数

平成 19 年度も 34,200 人を超える方々にご来館いただきました。過去最多となった昨年度の入館者数に約 300 人及びませんでした。今年度も多くの方々のご来館をお待ちしております。

	幼児	小中学生	高校生	一般	入館者合計
4月	204	1,317	30	1,336	2,887
5月	366	1,438	29	2,317	4,150
6月	114	1,555	58	2,106	3,833
7月	247	1,300	46	1,699	3,292
8月	375	1,260	63	2,179	3,877
9月	250	1,123	39	1,754	3,166
10月	285	1,101	53	2,035	3,474
11月	309	479	43	1,961	2,792
12月	235	316	20	1,212	1,783
1月	144	148	22	869	1,183
2月	242	275	30	1,014	1,561
3月	307	453	46	1,431	2,237
合計	3,078	10,765	479	19,913	34,235

まほろんからのお知らせ

『まがたまクッキー』販売開始

まほろんショップでは、４月よりまがたまクッキーの販売を開始しました。５枚入り 350 円で、とても美味しいお菓子に仕上がっています。

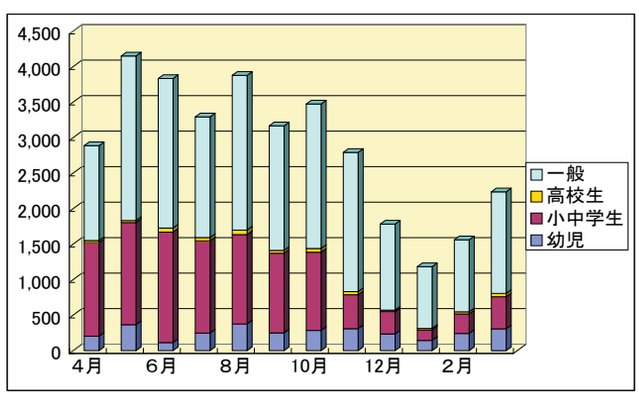
ご来館の際は、ご家族へのおみやげ等に、是非、ご利用ください。

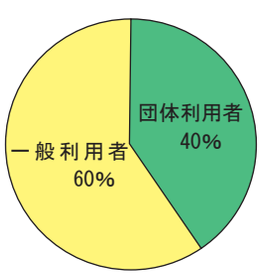
＜土器の野焼き＞

６月 14 日は、体験学習支援研修３「指導者のためのまほろん活用法」を行います。学校や生涯学習施設でのまほろん利用が増加していますので、広範囲な利用を目指して行う研修です。今まで以上におもしろいまほろんの利用方法が見つかると思います。

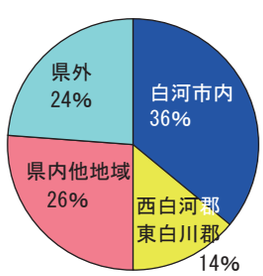
今年度の入門考古学講座は「衣・食・住」をテーマとして行います。さらに専門考古学講座は、東北北部や周辺の古代に関した講座を３回行います。その分野の第一人者を講師として招いたり、まほろんの学芸員が連携して講義を行いますので、それぞれ連続して受講されてはいかがですか。手始めとして、６月 22 日に入門考古学講座Ⅰ「住の考古学」を行います。

月別入館者グラフ





団体利用比率



地域別構成比

ご利用案内

開館時間　9：30 ～ 17：00（入館は 16：30 まで）

休 館 日　月曜日（月曜日が祝日・休日の場合はその翌日、ただしＧＷ・夏休み期間中は開館）、国民の祝日の翌日（土曜日・日曜日にあたる場合は開館）、年末年始（12 月 28 日～１月４日）

入 館 料　無料（体験学習によっては、材料費が必要な場合もあります。）

そ の 他　団体（20 名以上）でご利用の場合は，事前にご予約ください。

今年度の行事予定

1　実技講座

期　日	体 験 メ ニ ュ ー	体　験　内　容	募集締切	募集人数	対　象	材料費予定
5月17日(土)	土器づくり	小型の土器をつくります。	5月9日	20名		1kg100円
6月14日(土)	土器の野焼き	5月に作った土器を野焼きします。	―	―		―
6月29日(日)	鹿の角で装飾品づくり	鹿の角を使って装飾品をつくります。	6月20日	15名		500円
7月　5日(土)	カラムシから布をつくろう①	カラムシを刈り取り、繊維を取り出します。	6月27日	16名		200円
7月19日(土)	カラムシから布をつくろう②	カラムシの繊維から糸を紡ぎます。	―	―		―
7月26・27日(土・日)	親子で縄文土器づくり	親子で縄文土器をつくります。	7月18日	20名	小学生以上	1kg100円
8月　2日(土)	親子で土笛づくり	親子で土で出来た笛をつくります。	7月25日	20名	(小学4年生	100円
8月　9日(土)	古代の染色にちょうせん	タデアイを使った生葉染めを行います。	8月1日	32名	以下は保護者	1,200円
8月23日(土)	土器・土笛の野焼き	7・8月に作った土器・土笛の野焼きを行います	―	―	の付き添いが	―
9月　6日(土)	カラムシから布をつくろう③	8月に紡いだ糸でアンギン編みの布をつくります。	―	―	必要です)	―
9月27日(土)	石庖丁づくり	粘板岩を使って石庖丁をつくります。	9月19日	10名		200円
10月12日(日)	埴輪づくり	粘土を使って形象埴輪をつくります。	10月3日	15名		1kg100円
11月23日(日)	埴輪を焼く	10月に作った埴輪を焼きます。	―	―		―
11月29日(土)	古代のガラス技術にふれよう	ガラスを使った装身具をつくります。	11月21日	15名		300円
12月13日(土)	凧づくり	竹ヒゴと和紙を使って和凧をつくります。	12月5日	20名		200円
1月17・18日(土・日)	土器づくり上級編①	文様の複雑な大型の土器をつくります。	1月9日	10名		1kg100円
1月24・25日(土・日)	土器づくり上級編②	同2回目で、文様付けが中心になります	―	―	中学生以上	―
2月　8日(日)	まっ茶茶碗をつくろう①	ロクロを使って、茶碗をつくります。	1月30日	15名		500円
2月15日(日)	まっ茶茶碗をつくろう②	茶碗に釉をかけます。	―	―		―
3月　8日(日)	古銭づくり	石膏の型に金属を流して銭をつくります。	2月27日	10名	小学生以上	600円
3月14日(土)	土器の野焼き上級編	1月に作った土器の野焼きをします。	―	―	中学生以上	―

2　まほろんイベント

期　日	イベント名	イ ベ ン ト 内 容	募集締切	募集人数	対　象	参加費等予定
5月　5日(月)	昔話を聞こう	郷土に伝わる昔話などを聞きます。	―	―	どなたでも	無料
7月12・13日(土・日)	開館7周年記念イベント	7周年記念イベントで、様々な体験ができます。	―	―		
9月20日(土)	史跡見学ツアー	県内の史跡をめぐる予定です。	9月12日	20名	小学生以上	1，000円程度
10月4・5日(土・日)	まほろんを描こう	まほろんの敷地内で絵を描きます。	―	―	どなたでも	無料
11月1・2日(土・日)	古代の鍛冶体験	まほろんで作った鉄で道具を作ります。	10月24日	各16名	小学生以上	500円
12月　7日(日)	餅つき大会	竪杵と横杵で餅をつきます。	―	―	どなたでも	無料
1月10日(土)	第5回双六大会	昔の遊び「双六」のトーナメント戦を行います	1月6日	20名	小学生以上	
3月　1日(日)	雛まつり	和紙でお雛様をつくります。	2月20日	40名	どなたでも	
3月　7日(土)	第6回毬杖大会	昔の遊び「毬杖」をおこないます。	2月27日	18名	小学生以上	

3　まほろん森の塾(年8回　本年度の募集は締め切りました。)

期　日	内　　容	募集人数	対　象	材料費
4月12日(土)～11月8日(土)	春～秋を通して、縄文時代の衣・食・住を体験します。	15名	小学5年生以上	2，000円

4　文化財ビデオ上映会／まほろん文化財講座

期　日	講　座　名	講　師	募集締切	募集人数	対　象	入場料
1月25日(日)	まほろん文化財ビデオ上映会	当事業団職員	先着順	各60名	どなたでも	無料
2月14日(土)	第1回「私が掘ったあの遺跡－会津－」	当館学芸員				
3月14日(土)	第2回「私が掘ったあの遺跡－本宮市その2－」					

5　館長講演会　シリーズ『もう二つの日本文化－北海道と南島の文化－』

期　日	講　演　題	募集締切	募集人数	対　象	入場料
4月26日(土)	第1回「もう二つの日本文化とは」	先着順	各60名	どなたでも	無料
5月24日(土)	第2回「”北の文化”の成立」				
6月28日(土)	第3回「”北の文化”の展開」				
10月25日(土)	第4回「”南の文化”の成立と展開」				
11月22日(土)	第5回「ボカシの地域とは」				
12月20日(土)	第6回「グスクとチャシ」				

※各行事への申し込みは、当館まではがき、電話、FAX、電子メール、ホームページの申し込みフォーム等でご連絡いただくか、または、来館時に所定の申込書にご記入ください。(申し込みは、ご家族まとめてでもかまいません。)